

小中一貫教育に関するアンケート調査【概要版】

1 調査概要

(1) 調査目的

石巻市では、少子化による児童生徒数の減少等の課題解決の手段として、小中一貫教育の導入について検討しており、多くの皆様の意見を聴取し、今後の検討の際に参考とするために、アンケート調査を実施しました。

(2) 回収結果

児童生徒：3, 108人

保護者：2, 275人

教職員：611人

市民：1, 129人

(3) 回答期間

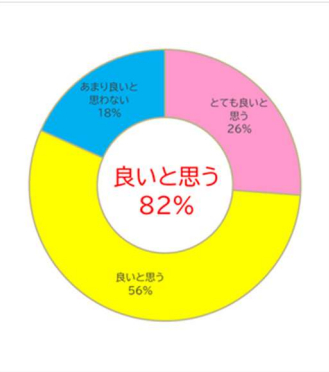
令和8年5月15日～5月29日

(4) 調査方法

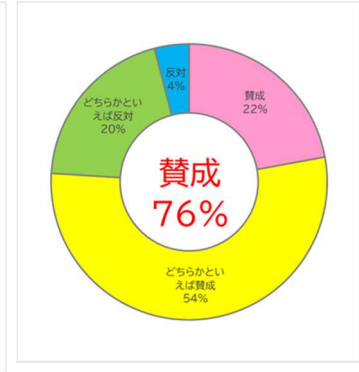
Log o フォーム

2 小中一貫への賛否

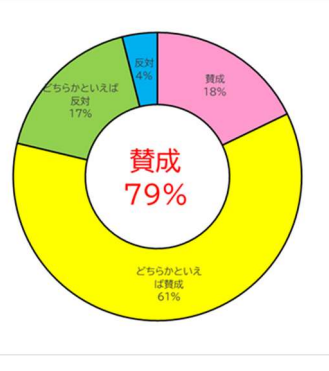
○児童生徒



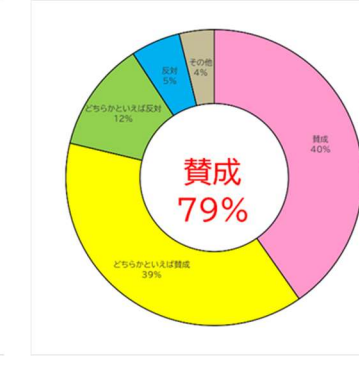
○保護者



○教職員



○市民



3 賛否の理由

○賛成の理由

項 目	保	教	市
児童生徒間での交流が増え、多様な関わり方を学ぶことで社会性や協調性を育成できる	574	131	280
小中教員間の連携や情報共有によるきめ細やかな指導が期待できる	392	108	210
小中ギャップ、中一ギャップ(不登校・いじめ・学習不適應など)が解消される	272	76	97
9年間を通した充実した学習・生活指導に期待できる	257	118	165
小中学校の学習内容を連携させることで、学習意欲が向上する	200	41	109
その他	34	7	28

【その他の意見】

- ・親の送迎や行事などの負担軽減(保護者)
- ・人数が増えることで人との関わりやコミュニケーションの取り方を学べる(保護者)
- ・子どもの人数が少ないところでの職員が再編される。(教職員)
- ・施設維持管理費が浮くから。(教職員)
- ・地域活動への積極的な関係性の構築(市民)
- ・生徒にとって社会の勉強になる。(市民)

○反対の理由

項 目	保	教	市
小学校と中学校の節目がなくなり、新たな気持ちの切り替えや進学する実感がなくなる	197	49	76
子どもたちの固定的な人間関係が9年間続いてしまう	192	30	55
小学校高学年の活躍の機会が減り、自主性やリーダーシップが育ちににくい	61	39	30
通学距離が長くなり、児童生徒や保護者の負担が増える	45	5	22
その他	51	7	14

【その他の意見】

- ・低学年が高学年の真似をするため、悪い影響がありそう。(保護者)
- ・子ども一人当たりの教育の人員体制が削減されてしまうから。(保護者)
- ・教師の負担が増える。どうしても一貫にするなら、雄勝や女川のような運営が良いと思う(教職員)
- ・学力が下がる可能性がある(市民)
- ・いじめがある場合、9年間その子と同じ学校に通わなければならない。(市民)
- ・小学生への精神的な負担や影響が心配。(市民)

4 現在の教育についての不安

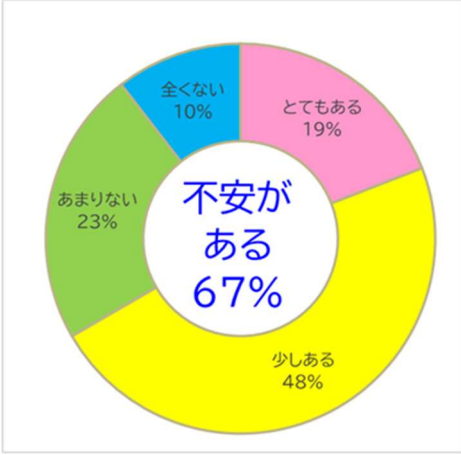
(1) 現教育環境への不安(保護者、教職員、市民)

項 目	保	教	市
クラス替えができず、人間関係が固定化してしまう	1,112	384	640
運動会や部活動など、集団での活動が制限されないか	1,034	265	677
学習指導、学習支援の難しさ(複式学級や授業のマンネリ化)	588	213	423
切磋琢磨するライバルが少なくなり、意欲が低下しないか	544	178	433
専門的な指導を行う先生が不足しないか	519	23	351
教職員の業務負担の増加	437	192	361
特になし	308	25	58
その他	46	11	40

【その他の意見】

- ・学区内制度があることで一つの学校に人が集まりすぎてしまう(保護者)
- ・1クラス編成で逃げ場やクラス替えがない環境が不安(保護者)
- ・子どもの望む教育を受ける環境下がない(保護者)
- ・PTAのあり方も見直しが必要だと思う(保護者)
- ・都会との教育環境や機会、体験の格差(教職員)
- ・教員のなり手不足。若手が指導に苦勞している。(教職員)
- ・学校内のOJT機能の低下で初任の育成が難しい。(教職員)
- ・子ども同士の対等な対人関係の希薄化(市民)
- ・学年での役割が決まってしまう、違うことをできにくい。(市民)
- ・大人の目の届かないところでいじめが発生している。(市民)
- ・子どもたちの縦のつながりの希薄化、町内会の育成活動の停滞(市民)
- ・高校入試の倍率低下による入試難易度の低下(市民)
- ・塾や部外のスポーツ活動等、経済格差がある。(市民)
- ・学校にかかるコストの増加(市民)

(2) 児童生徒の進学時の不安

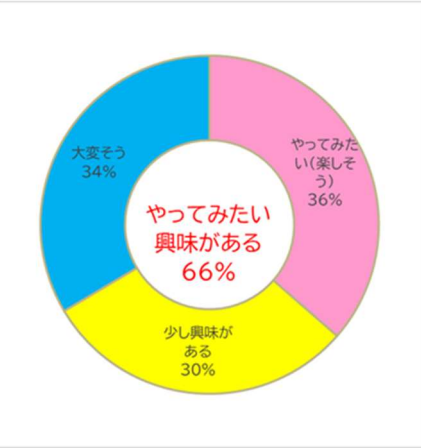


小中一貫教育に関するアンケート調査【概要版】

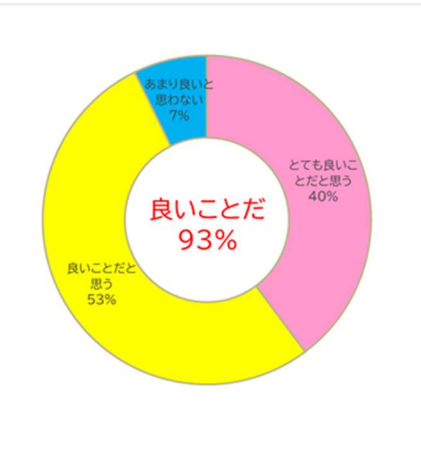
5 小中一貫に期待すること

(1) 児童生徒

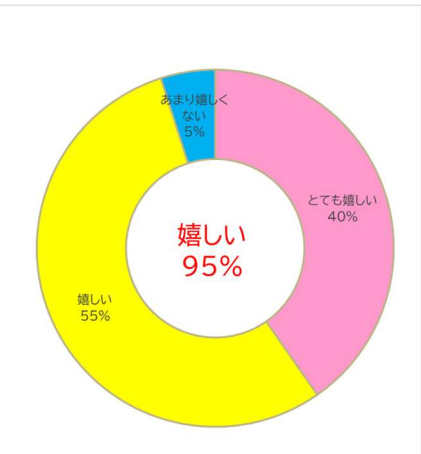
○行事を一緒にやること



○つながりが増えること



○「自分に合った教え方」



(2) 小中一貫により身につけられること(保護者、教職員、市民)

○期待すること

項目	保	教	市
児童生徒のコミュニケーション力の高まり	1,027	289	543
思いやりや助け合いの気持ちの育み	874	241	444
充実した学習・生活指導	844	232	425
一貫した指導・支援	773	309	482
友人間のトラブルの減少	625	59	282
学習意欲の向上	577	136	289
学習理解度の上昇	447	83	226
学習習慣の定着	413	126	249
多角的な児童生徒理解	402	170	253
「教え方」の共通化	381	135	192
児童生徒の自己肯定感の高まり	311	74	161
学校独自のカリキュラムの充実	311	106	240
生活リズムの改善	187	42	128
その他	78	11	67

○身につけられると良いこと

項目	保	教	市
コミュニケーション力	1,239	331	616
人を助ける力	1,199	344	615
多様性を受け入れる	1,008	293	551
将来像を描く力	834	238	413
自分らしく過ごす力	745	147	352
継続力	710	139	369
発想力	645	117	376
環境適応力	618	142	309
自己肯定感	585	195	299
リーダーシップ	495	199	314
探求力	475	92	280
その他	78	4	44

6 通うのがもっと楽しくなるアイデア

(1) 異学年交流・人間関係 192件

- ・週に1、2回交流会
- ・小学生に勉強を教える。教えることで自分も学べる。
- ・友達とたくさん関われば学校が楽しくなる。
- ・先輩と後輩が支え合える学校
- ・低学年と必ず一緒に登校

(2) 学校行事・イベント 246件

- ・文化祭を一緒にやってみたい。
- ・みんなでスポーツ大会
- ・球技大会
- ・学校鬼ごっこ
- ・逃走中
- ・一緒に修学旅行
- ・のど自慢
- ・学年別クイズ大会
- ・小学校の遠足で先導してみたい
- ・一緒に運動会をしたい

(3) 施設・設備・環境 69件

- ・自転車通学が良い
- ・バスで登下校
- ・校内に売店
- ・食堂
- ・たまに私服登校
- ・ジャージ登校

(4) 学習・授業・部活 128件

- ・中学で学ぶことを教えてもらえる。
- ・小6は中学の先取り学習
- ・他の学年と一緒に勉強する授業
- ・うさぎなどの飼育をやってみたい
- ・みんなで野菜を育てる
- ・校外学習や宿泊授業をしてみたい
- ・小学校から部活体験ができる
- ・やりたい人だけ小学校から部活ができる

(5) 生活・ルール・給食 125件

- ・担任がアンケート式
- ・違う学年で同じクラスになる。
- ・自分で時間割を決めたい。
- ・休み時間を増やす、延ばす
- ・給食を一緒に食べる
- ・給食が豪華で美味しくしてほしい。(味を濃くしてほしい)

(6) 心の安心 201件

- ・先生が面白かったら楽しみ
- ・みんなが元気よく気持ちの良い挨拶ができる
- ・児童生徒の意見が学校や先生たちに反映される学校
- ・笑顔あふれる学校
- ・みんなが気楽に話せる学校
- ・いじめがなく、優しい先生がたくさんいる学校
- ・いじめ、暴言、暴力がない学校
- ・一人一人がルールを守る
- ・ルッキズム社会をなくす
- ・不登校の子が通えるようにするなら表情を見て悩みや不安を察し、手を差し伸べてほしい
- ・縦のつながりは大切だけど、怖い先輩とかいるから上下関係ががちりしすぎない。
- ・喧嘩しない学校

キ その他 22件

- ・そもそも中学校と小学校が一緒になることに反対。人数が増えるから。
- ・なるべく今の原型をとどめていてほしい
- ・小学校と中学校が混ざったら、新しい学校に行くわくわくがなくなるので別々がいい。
- ・小学生の面倒を見るのに時間を割きたくない。
- ・小学校と中学校が一緒になったら体育祭などの行事が大変になると考えたから一緒になるのは反対